

『NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇』公演関連レクチャー

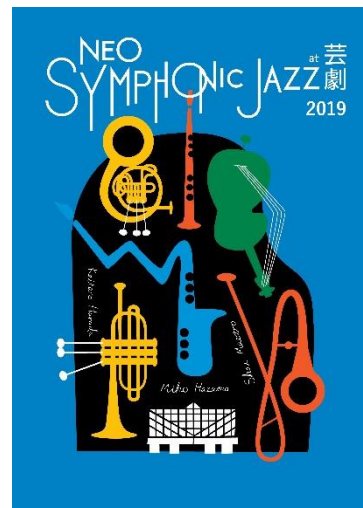
管弦楽とジャズのコラボレーションを楽しむ

『NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇』構成、作編曲の挟間美帆に学ぶ、Jazz と Classic の出会いと進化

東京芸術劇場の新企画『NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇』の構成、作編曲を担当するジャズ作曲家の挟間美帆氏を講師に迎え、アメリカで生まれたジャズ音楽が、どのようにクラシック音楽家・作曲家やオーケストラと出会い進化してきたのかを辿ります。

この公演では世界初演となる「ピアノ協奏曲第1番」を披露する挟間氏から、直接お話いただける貴重な機会です。お見逃しのないように！

日時：2019年6月7日（金） 19:30-21:00
会場：東京芸術劇場 リハーサルルーム L（B2F）
料金：500円 『NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇』の公演チケットをお持ちの方は無料（当日、受付にてチケットをご提示ください）



講師：挟間 美帆（はざま みほ）

国立音楽大学およびマンハッタン音楽院卒業。これまでに山下洋輔、坂本龍一、鷺巣詩郎、テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK 交響楽団、ヤマハ吹奏楽団など多岐にわたり作編曲作品を提供する。2012年『ジャーニー・トゥ・ジャーニー』をリリースし、ジャズ作曲家としてメジャーデビュー。2015年、第2作『タイム・リヴァー』を発表、2016年には米ダウンビート誌“未来を担う25人のジャズアーティスト”にアジア人でただ1人選出されるなど、高い評価を得る。2018年、最新作『ダンサー・イン・ノーホエア』を発表。

2011年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修員。2014年、第24回出光音楽賞受賞。2017年、シエナ・ウインド・オーケストラのコンポーザー・イン・レジデンスに就任。



© Hiroyuki Seo

モデレーター：小室 敬幸（こむろ たかゆき）

東京音楽大学の作曲専攻を卒業後、同大学院の音楽学研究領域を修了（研究テーマは、マイルス・デイヴィス）。これまでに作曲を池辺晋一郎氏らに師事している。現在は、和洋女子大学で非常勤講師、東京音楽大学 ACT Project のアドバイザー、インターネットラジオ OTTAVA のプレゼンター（ラジオDJ）などを務める他、フリーランスの音楽ライターとしてもクラシックやジャズを中心に楽曲解説やインタビュー取材などで幅広く活躍している。



お申し込み方法

Peatix の下記ページよりお申し込みください。

<http://geigeki20190607.peatix.com>



【お問合せ】東京芸術劇場 事業企画課 教育普及担当 TEL 03 (5391) 2116

主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 www.geigeki.jp

助成



文化庁文化芸術振興費補助金
（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

東京芸術劇場

文化でつながる。未来とつながる。

Tokyo Tokyo
FESTIVAL